

平成30年9月15日 土

時間：14時から16時（終了後自由参加の懇親会あり）

場所：なじみギャラリー 徳島市吉野本町6-42  
コレクティブハウスなじみ1F

対象：ケアマネジャー・訪問看護師および  
地域医療に関心のある方



山内 勇人 hayato Yamauchi

大分市・医療法人さくら会 わかば台クリニック 副院長

愛媛大学卒業後、内科医として14年間勤務し、がん治療や救命救急、在宅医療などを経験。平成18年5月より精神科に転向し、松山記念病院精神科医長を経て、平成22年より佐伯保養院副院長、平成30年1月より大分市にある「わかば台クリニック」に勤務。診療拒否等で受診自体が困難な事例にも積極的に往診で介入。治療や支援を早期から始めるために、市民への疾患啓発にも取り組む。「いつか誰もが認知症になり障がいが出る」「認知症の方や障がい者は人生の先輩」「認知症の方が住みやすい地域は誰もが住みやすい地域」と考え、「地域の人達が心豊かに暮らせ、歳をとっても、認知症になっても、障がいがあっても役割や生きがいを感じられる“ハートフル”な地域づくり」に諸機関と連携しながら活動中。支援する側・される側に分かれるのではなく、互いに支え支えられる共生社会のモデルづくりのため、一般社団法人共生社会実現サポート機構を平成29年に設立し、代表理事を務める。資格等：精神保健指定医、認知症サポート医、認知症キャラバンメイト、総合内科専門医・指導医、感染症専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医、医学博士、防災士など

# 認知症の人を 地域で どのように 見て行くか “愛”の向き

## 参加無料 要予約

◎ホームページより  
お申し込みください。  
[www.ota-hc-clinic.com](http://www.ota-hc-clinic.com)

話をさせていただけることになりました。  
ケアマネジャーや訪問看護師、ご家族の方々にとって、新たな気づきになると思います。

認知症の方が家で過ごすことは、何も特別なことではありません。しかし、家族だけの介護ではその負担が重く、生活が困難になります。一般的には認知症の方には医療・介護の多職種が関わるのがよいとされています。ところが具体的に家族は誰に相談すればよいのか、どのような職種の方がどのように関わればよいのかなど、当事者にとってわからないことが多く、不安が多いのが現状ではないでしょうか。認知症の方が住み慣れた家や地域で暮らして行くためには工夫が必要です。

今回、精神科医で長年認知症治療に携わってこられた山内勇人先生をお招きして、認知症の方を地域でどのように見て行くかという観点からお話をさせていただきます。

■進行役

## 太田 敦

徳島大学医学部卒。在宅医。家庭医。現在愛媛県松山市たんぼクリニック勤務。平成30年10月徳島市にて「おおた在宅クリニック」開業予定。

\*駐車場スペースに限りがございますので、できるだけお乗り合わせの上お越しください。

企画／ **おおた在宅クリニック**  
Ota Home Care Clinic [10月1日開業予定]

お問い合わせ Tel 088-656-3001  
Fax 088-603-8227  
[www.ota-hc-clinic.com](http://www.ota-hc-clinic.com)

